

優秀賞（神奈川県福祉子どもみらい局長賞）

## 幸せについて

逗子市立沼間中学校 1 年

すずき  
鈴木 ナズナ

「幸せとは、どういうことなのか？」

みなさんは普段、“幸せ”と実感しながら、日々、過ごせていますか？

毎日の生活の中で、正直私は、

「幸せだなあ。」

と感ずることはありません。

“嬉しい”とか“楽しい”というポジティブな感情やそう思う瞬間はあっても、それがイコール“幸せ”ということなのか？と考えると、少し違うような気がするのです。

“幸せ”とは、どこからみてどこが基準で誰が決めるのでしょうか？

以前“あなたの手で！さあ、ワクチンで世界を幸せにしましょう。”という、伝染病に苦しむ子どもたちを助けるキャンペーンをやっていた時がありました。

この時、私はペットボトルのジュースを飲みまくり、必死にかき集めて回収箱に入れていたことがあります。

何週間か経つと、その回収箱はフタをされていました。回収箱の上に報告書のようなプリントが貼ってありました。

“皆様、ご協力ありがとうございました。おかげ様で、6人分のワクチンが手に入ります。また次回の機会にぜひよろしく願います。”と記されていました。

私は、ペットボトルのキャップでいっぱいになったビニール袋をクルクル回しながら、

“7人目の子はどうなるんだろう？”

“まさかこのキャップをたせば、7人分になったのではないか？”

とがく然として、とても悲しい気持ちになった時がありました。

またある日は、テレビをつけるとたまたま貧困に苦しむ国のドキュメンタリーが流れていました。今にも折れてしまいそうな細い体で、空腹に耐えながらこちらをじっと見ている映像です。あの子のカメラの向こう側で私は夕食を食べていました。

何とかして嫌いなブロッコリーをごまかして食べ残そうとする私は、この日本に生まれて、なんて幸せ者なんだろうと申し訳ない気持ちでいっぱいになった時もありました。

けれど、自分より不幸な人がいないと自分の幸せを実感できないなんて、それもちよっと変だと思うのです。

では、一体“幸せを感じるのはどんなときなのか”この夏休みを使って私は、“幸せメモ”を作ってみることにしました。

「これが幸せかも。」

と思えたとき星印をつけて、忘れないように内容を簡単に記していくのです。

そして3週間後、“幸せかも”と実感できた瞬間は、驚くことに、おこづかいやプレゼントをもらったときでもなく、勝負に勝った優越感の時でもありませんでした。

その瞬間は、普段体が弱い母が、

「今日は、調子がいいのよ。」

と、私の大好物のマドレーヌを焼いてくれた時でした。一緒に

「おいしいね。」

とニコリ笑い合いながら、ゆったり過ごした時間でした。

また、“喜んでもらえるように”私が時間をかけて選んだお土産を友達が本当に嬉しそうに、大切そうに受け取ってくれたときでした。

私にとっての“幸せ”は、何も心配事がなく、大切な人達と優しいときを共に過ごせた時間だったのです。

今回“幸せメモ”を作って気付けたことは“幸せの見つけ方”です。毎日をただ過ごすだけではなく、時には自身自身の幸せを探そうとすること、そして、幸せだと思える瞬間をきちんとキャッチして心から味わえることがとても大切だと私は思うのです。あなたにとっての幸せは何ですか？